学修の成果に係る評価・修了の認定に当たっての基準（大学院）

学修の成果に係る評価

単位認定について

単位の認定は、試験またはそれに代わる方法によってこれを行う。

特に定めないかぎり、授業時間数の3分の1以上を欠席した科目については、受験資格を失う。

成績評価について

成績は、優、良、可、不可とし、優、良、可を合格とする。

授業科目を履修し、試験等に合格した者に単位を与える。

修了の認定に当たっての基準

1. 社会福祉学専攻博士前期課程・臨床心理学専攻修士課程

2年以上在学し、学則に定める必要単位数を修得し、かつ、修士論文の審査に合格した者に、修士の学位を授与する。

社会福祉学専攻博士前期課

科目区分	必要単位数
基礎研究科目	6単位以上
専門科目	8単位以上
専門演習	8単位
実習	※
合計	32単位以上

臨床心理学専攻修士課程

科目区分	必要単位数
基礎研究科目	12単位以上
実習	2単位以上
特別研究	8単位
専門科目	12単位以上
合計	36単位以上

2. 社会福祉学専攻博士後期課程

3年以上在学し、学則に定める必要単位数を修得し、かつ、博士論文の審査に合格した者に、修了を認定し、博士の学位を授与する。

社会福祉学専攻博士後期課程

科目区分	必要単位数
専門研究指導科目	6単位以上
専門研究演習科目	4単位以上
課程共通科目	-
合計	10単位以上